

議会だよりの入善

GIKAI DAYORI NYUZEN

9月定例会

- 一般会計の概要……………2P
- 常任委員会レポート……………4P
- 一般質問…町政を問う(5議員)…6P
- 行政視察レポート……………12P
- 各委員会委員の紹介……………13P
- ありやどうなっとるがけ?……………16P
- 傍聴席・各種団体からひとこと……………18P

No.98号

1996年10月28日
(平成8年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3,255
☎0765(72)1100 傳0765(74)0067



消費者と直結した「入善コシヒカリ」栽培実証田の稲刈り
岸和田市のみなさんが6月2日に田植えし、10月5日収穫した“つぶぞろい”を持ち帰られた。

公職選挙法により、「年賀状」を出すことができません
ので、ご了承下さい。
議員一同

道路改良舗装事業費

15路線の設計料工事費

町内15路線の設計委託料
400万円、工事費650
0万円、補償料900万円
等であり、町民の要望路線
が舗装される。

(7800万円)

幹線道路改良

舗装事業

幕ノ木・小杉線の改良工
事費及び入川橋の設計委託
料であり、この道路は、地
方特定道路となった。

(1920万円)

飯野・舟見保育所 の調理室床を補修

〇―157が全国的に猛
威をふるい、今なお感染源
が確定していない。

町も、予防対策として、
930万円をかけ、保育所
学校の給食施設を改善した。
これからも、今まで以上に
衛生面を補完しなければな



▲ 補修を待つ、飯野保育所調理室の床

らない。

その観点からも調理室の
床が汚損している飯野、舟
見両保育所の当該箇所を1
00万円の子算で補修する。

県単土地改良 農村総合整備 事業費の補正

県単事業費は、本年度事
業費の確定によるもので、

県支出金1200万円を含
む、3355万円の町道舗
装である。農村総合整備費
2188万円は、舟見地区
の消雪事業等である。

(5543万円)

新屋地区コミュニティ施設に 用地造成費

1892㎡の建設用地に
320万円の造成費をつけ

た。場所は、旧新屋役場跡
地で、平成9年度建設予定。

地区公民館 整備に補助

地区公民館補助は、野中
道古、棚山3区、上野1区
の公民館整備に、759万
2000円を補助する。

専決処分

入善漁港海岸の保全施設工事（その7・8）
請負契約を変更する。

※変更理由

離岸堤工事の際し、申請ブロックを仮設して
越冬する予定にしていたが、冬期風浪による被
害が懸念されるため、申請捨石工の増工をする。

※変更後の契約金額

(1)その7工事（飯作組）
425万4930円を追加し、6883万5

930円。

(2)その8工事（広川建設）

406万1290円を追加し、6565万5
290円。



▲ 道古公民館の完成を祝う子天狗たち

常任委員会レポート

9月14日、15日の2日間、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催された。特に今回は、「ふれあい交流プラザ」や「舟見寿楽苑」への助成の在り方に論議が白熱した。その要旨を報告する。



▲ 土地改良区の合併問題を協議する役員会

総務

土地改良事業は
地元民とよく協
議の上で！

県単土地改良事業や、農村基盤総合整備事業は、町の継ぎ足しと町民の地元負担もついでまわることから必要以上の負担増にならないよう、土地改良区や地元

民とよく協議し、住民サイドに立った執行を望む。なお、土地改良区の合併問題は、これらの事業と負担金が密接に関連するので住民の利益に結びつく方向で調整し、統合に指導力を発揮されたい。

漁業振興策は、
流通機構にも力
を入れよ

漁港環境整備事業は、多額の補助金を投入しているが、整備の進展が遅い。漁業従事者から期待され

る振興策を実行することと、生産のみならず、漁業流通機構にも力を傾注されたい。

「ふれあい交流
プラザ」の建設
は町民に見える
形で

本件は新川拠点都市構想の一環と言われているが、総務常任委員会として、一度も説明を受けていない。いきなり、2737万5000円の基本設計委託料等の補正案が出されても安易に賛成できない。今後の改善策を望む。

文教・厚生

舟見寿楽苑への
補助金は当局と
の協議を十分に
せよ

町の高齢化対策の一翼を

ひばり野小学校
の水道ポンプ、
早くも取替え

担っている舟見寿楽苑に、機能回復訓練室とエレベーターを増築し、一層の充実をはかる。しかし、今後はこの種の問題が発生した場合は、町当局と十分協議の上、補助金が有効に活用されるよう、強く要望した。

濁り水が上がり、ポンプに砂が吸んで使用が不能となったためである。開校して、間もなく建物の雨漏りやグラウンドの排水が悪い等问题が次々と発生している。設計・施工の段階で、工事が少し甘かったのではないかと、重複投資にならないように、維持管理の業者責任を明確にできないか、検討するよう要望した。



▲ 増築中の舟見寿楽苑

米沢紋三郎氏の
文書を整理・保
存

米沢紋三郎氏は、町の先
駆者であるだけでなく、「分
県之父」として、富山県の
先駆者でもある。

内外の県民に広く知らせ、
開陳するために県の古文書
行政とも連携し、今後はイ
ベントの開催など、特別な
PRの配慮をされたい。

産業・建設

富山水源の森に
杉沢の沢スギと
舟見地区を選定

森林は、水を育み、安定
的に供給してくれる「緑の
ダム」である。

有限である地下水を子孫
に伝えることは重要である。
森林の役割や大切さへの
関心が高まるよう、標識を
設置し、啓発を図るもの
である。
木を伐採した後の植栽、



▲ 完成が待たれる舟見地区消雪工事

管理について、地元や森林
組合、専門家の意見を参考
にして、実効ある取り組み
を要望する。

地下水規制条例
を早急に
制定せよ

近年の地下水の低下、塩
害化等、町民の不安が拡大
している。飲料水を確保し
地下水を守るためにも早急
な対策が必要である。
さく井業者からの指摘も
あり、地下水規制条例の制
定を早急に要望する。

請願・陳情等の
積み残し
200件

道路整備は住民生活に直
結する最大の課題であり、
英断をもって早期着工に努
力するよう強く要望するも
のである。

みなさんの請願・陳情の

ゆ
く
え

今定例会に提出された請願5件、
陳情5件の審査結果は、次のとお
りである。

○入善漁港施設整備計画に関する請願

採択

○公共建物（鉄筋、鉄骨、木造）に
屋根瓦の採用の促進を求める請願

採択

○消費税の税率引き上げと中小業者
への「特別措置」改廃の中止を求
める請願

継続審査

○国民本位の介護保険制度の早期確立
を求める意見書提出についての請願

継続審査

○除籍簿、除かれた戸籍の附票等の
保存期間延長に関する請願

継続審査

○町道の国道上野神社線の安全柵設置
に関する陳情

採択

○「定住外国人の地方参政権」に反対
する陳情

継続審査

○水道施設の新設事業などの特別の
ご配慮のお願いに関する陳情

採択

○「交通マナー向上と高齢者交通事故
を撲滅する運動」に関する宣言の
陳情

採択

○旧舟見小学校跡地の整備についての
陳情

採択

いっぱい質問



▲ 熱心に傍聴するみなさん

第20回 定例会

町政を問う

5人の議員が登壇

9月議会の一般質問は13日行われ、5人の議員が12項目の課題を質問した。

特に入善町女性議会の議員をはじめ、女性の傍聴者が多く、議会に対する関心の高まりが感じられた。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則として、そのまま掲載した。

主な論戦の内容は、次のとおりである

- 次代を担う子供達の保育行政充実について
- 清水川（庄助川）の改修整備計画について
- 第一回女性議会の評価について
- 老人福祉計画の実現と福祉サービスの現状
- 交通安全対策の強化
- 下水道条例の制定と浄化センターの見通しについて
- 民間が行う消雪工事に補助金
- 黒部川の治山・治水対策について
- 自民党議員会分裂後の町政対策について
- 地域防災について
- コミ問題について
- 介護保険について

住民から期待される 保育行政とはなにか

本多 幸男 議員（町民クラブ）

町長

子供が健やかに生まれ、育つ環境づくり



▲ 迎えを待っている延長保育の子供たち

問 昭和50年代、1500人以上も生まれていた子供達が、現在では800人と減少している。次代を担う子供達の出生と育てやすい環境づくりを真剣に考えねばならない。住民から期待される保育行政とは何であると思われるか。

町長 子供が健やかに生まれ、育つ環境をつくること。働きながら安心して子育てできるよう、仕事と育児が両立できる社会づくりが肝要と考えている。

子供の減少と

保育所の

統廃合について

問 地域の利便性と住民サービスを考える時、子供が減ったことを理由に、保育所を統廃合すべきでない。基本方針を聞きたい。

また、保育が余ると言って新規採用しないという考え方でなしに、もっとプラス思考を働かせて、人事の交流や、新規採用を含めた新風政策をとれないか。

町長 14の町立保育所のうち、極端に園児が減少する保育所は将来の問題として、統廃合は検討せざるを得ないが、地区の子育て拠点として、どの保育所も重要であり、当面は廃止しない。保育の定数問題は、年間3名位の定年退職と新規採

用が理想と考えているが、現状の職員総定数枠から見て、保育の新採はできない。問 保育所の冷暖房設備の整備計画と予算化をどのように考えているか。

上田福祉課長 今年4保育所の乳児室に冷房設備を設置した。来年度も計画的に公平なる整備ができるよう、財政当局と協議したい。

清水川（庄助川）

は石積み自然環境

保全工法を採用

問 黒部川扇状地湧水群をキーワードとする本町にとって、「湧水頭無し川」の自然環境をいかにして保全するかが重要である。庄助川の改修計画と町単独の環境を保全する事業内容をどのように考えているか。

町長 平成11年まで7億3200万円の子算で改修する。県と十分な協議の上、自然、生物、環境を保全する最善の工事を行う。町は草刈りなどに支援し、生活雑排水の流入解決のため、合併浄化槽の助成制度に上積みを考えている。

女性議会の結果をどのように生かすか

東 狐 和 議員（町民クラブ）



助役

町政執行に反映していく

▲ 在宅サービスに精をだす、ヘルパーさん

若手の男女職員による下部組織も設けた。男女共同参画社会の実現にむけて努力していく。

老人福祉計画の

実現と福祉サービ

スの現状について

問 2000年までゴールドプランの目的達成できるのか。どのような努力をしているか。

上田福祉課長 在宅サービス三本柱のうち、ホームヘルプサービスは49%、ヘルパーの確保は65%だが、目標は達成出来ると思う。

シヨートステイはベット数が十分に確保されている。デイサービスは、現在40%で、あと一棟の建設が必要であると考えている。

施設整備ではケアハウスの建設を計画しているが、自立生活が出来る人が対象であり、特別養護老人ホームへの入所希望が多く、20名待機者がいることから

どんな施設が良いのか、十分に検討したい。達成率は50%である。

問 ホームヘルパーの待遇改善策を聞きたい。

町長 機動力対策として車を順次計画的に購入してい

きたい。JA入善町など民間の力やボランティア団体の協力も得て、介護ボランティアバンクの設立に努力したい。

交通安全

対策の強化を

問 学校における交通安全指導は、どのように実施しているか。高校生の交通マナー指導対策を聞こう。

上原教育長 小中学校では、年間計画に従い、月一回行っている。小学生の飛び出しや、中学生の自転車の飛び出しが多い。実態に応じた指導が必要である。

学年が進むに従い悪くなる。家庭、地域全体で取り組む事が大事である。

問 どのような安全対策を実施しているか。

上原環境保健課長 民間の諸団体と連携し、警察の指導で町民全部が反射材シールを貼るホテル作戦を展開している。ドライバーの注意を喚起し、人命尊重の立場から全町ぐるみで取り組んでいる。

下水道条例は本年中に 提出できるか

福澤 憲一 議員 (民政会)

助役

3月議会に提出できるよう努力する



▲ 浄化センター建設予定地 (東五十里地内)

問 昨年9月議会で条例を8年度中に議会に提出するとの答弁であったが、提出する見込みがあるか。

五十里助役 下水道事業には色々な条例を制定しなければならぬので、他市町村の条例を参考に3月議会に提出できるよう努力している。

問 公共下水道事業区域の浄化センター建設場所の見通しは、また、周辺地域の同意状況はどうか。

助役 下水道計画で一番重要なことである。東五十里地区での建設を予定しており、大筋で同意を得ている。用地の確保は9年度の稲刈り後を考えている。なお、周辺地域の同意はこれからである。

問 供用開始をすると個人が改築するのに多くの費用がかかる。町でも、低金利の資金貸付制度を創設する考えはないか。

町長 行政がなんでも資金を貸し付けするのではなく、自分達で資金を用意するのは当然である。町民の預金状況も、県内ではトップクラスであり心配はない。但し、状況次第では制度化を検討する。

民間が行う消雪工事に補助金を出す考えはないか

問 町の中心部は幅員の狭い道路でも殆んどが消雪工事がされているが、農村部では、殆んどされていない。幅員の狭い住宅密集地の町道や複数の利用者がある生活道路で、利用者が自分達で行う消雪工事に補助金を交付する考えはないか。

町長 県内の市町村では、どのように対応しているか見て対応する考えである。農村部では、自分達の力で除雪すべきであり、生活道路等の消雪工事に補助金を出す考えは、今のところない。

黒部川は清流河川といえるか

岡島 功 議員(民政会)



町長

清流黒部といつて差しつかえない



▲ 守っていききたい清流黒部

黒部川治水 対策について

問 清流河川全国ランキング1位から9位に下がったが、建設省、営林署への働きかけを示せ。

町長 全国の一級河川、167河川の中で清流河川として3年連続、全国第1位だったが、昨年は9位に下がりが、イメージ低下を心配している。しかし建設省の分類によると、AAランクに位置しており、評価的に清流黒部と云って、差しつかえないと思っている。

最近、上流での土砂災害が発生しているが、黒部川流域では、8流域37カ所で工事を進めており、治山は林野庁、砂防は建設省と、たて割り行政の為に、一体化した工事が難かしいのが現状である。一体化した要望が通るよう望んでいる。

問 災害復旧対策検討委員会への要望及び調査報告を示せ。

町長 当初予定より被害が少なかったとの報告を受けているが、出水時に合わせて排砂が行われた結果、調

査数値が低いものと思われる。いずれにしても、県・林野庁、建設省、地元市町、関西電力、関係者が、災害復旧、治山、治水の問題に協力して対処する必要がある。県選出の衆参国会議員の協力もお願いして、清流黒部の回復を願うものである。

党派分裂を受け ての方針について

問 自民党議員会の分裂を受けての町政運営、議会、議員への方針を示せ。

町長 情報公開制度によって明らかな様に、ガラス張りの町政を常々目指しているが、議会の皆様とは、車の両輪のごとく、たえず相談しながら、町政を進めていきたい。

資源ゴミ回収に 常設ボックスを

九里 郁子 議員 (日本共産党)

環境保健課長

設置に向け取り組みたい



▲ ゲームを楽しむ「こぶしの庭」のみなさん

問 昨年に比べ、新川広域圏全体で、「燃やせないゴミ」は22%、「燃やせるゴミ」は10%、それぞれ増え、資源ゴミは18%減っている。資源回収に町民が協力しやすいように、常設ボックスの設置を求める。

つき、付着するゴミが3倍にもなり、鉄くずの質が低下している。金を支払わなければ引き取ってもらえないのではないか。来々四月から、ペットボトルなどを町が分別収集しなければならぬ包装法が施行になるが、収集体制はどうするのか。

あるが、現在、行政無線の屋外拡声子局は3カ所しかない。地方交付税算入の起債が認められる国の事業を活用して、増設する考えはあるか。

だれもが、いつでも必要な介護を受けられるように

「燃やせないゴミ」を処理する宮沢清掃センターから豊富産業に売却している、鉄くずにビニプラがからみ

問 介護保険制度は「私は介護が必要です」と申請しても認定機関が認めなければ対象にならない。国民年金の老齢年金受給者の約半数が月額4万円である。保険料が払えない高齢者には、公費による措置制度が必要である。だれもが、いつでも必要な介護サービスを受けられるか。

海岸線に屋外拡声子局の増設を

問 入善町の地域防災基本計画の見直しは、どのような日程で進めているか。素案段階から議会で審議に付すよう求める。

町長 市町村会では、市町村の財政負担にならないよう国に要望している。コメントする資料を持っていない。

川・静岡構造線活断層系」が、数百年以内にマグニチュード8前後の地震をおこす可能性がある」と発表した。入善町の海岸線は約11km

中国遼寧省

リョウネイシヨウ

経済交流団に参加して

前議長 野坂俊一

7月6日から3日間、シニョウ瀋陽市・大連市を視察した。参加者は、県副知事はじめ市町村長、経済人の124名の大交流団で、遼寧省側から「熱烈歓迎」を受けた。その概要を報告します。



▲ 熱烈歓迎

行政的観察

面積は、富山県の34倍、人口4000万人で実に入が多い。共産党の指導の下に徹底した解放経済から社会資本経済への移行が窮われる。

国民の志気は高く、積極的に外資を導入し、国家建設に意欲を燃やしている姿は驚くべきものがあります。建国40年、未だ浅く軌道に乗っていないようです。現在の政策重点は、高層住宅の建設に傾注し、道路、港湾、鉄道は今一步という感がある。今後は急激に発展するだろう。

経済的思慮

(一) 富山県との交流は10年余、膨大な地下資源は、今後の開発に魅力的だ。日本企業進出は、(2193社20・3%)を占めている。日本より20年位、遅れているのではないかと思われる。また、13億人の国民への商圏が期待される。富山県の企業も今後進出しないと状況に乗り遅れる。ぜひ実行してほしい。

(二) 遼寧省の経済成長率は10%、12%と高いが、特に要望している企業は①技術革新と公害対策、②ハイテク産業の参画、③農業資源の開発及び加工、④インフラ施設参画などです。

農業の概要

(一) 戦前と異なり、構造改善事業が進んでいます。畑作物、牧畜が期待されます。大川川はあるが、灌漑排水事業は後一歩です。

(二) 国民一人当り1・6haが与えられ、納税は収益の半で、後は自由に使えるため農民は意欲的で満足している模様です。

(三) 土地は肥沃だが、耕作



▲ 交流団のみなさん

機械が少なく人力が多い。日本の中古品があれば能率的です。

(四) 果物、野菜が多い。入善町へ持って来て適切な物があれば検討してはどうか。

(五) 漢方薬が多い。西洋医学と違い、副作用がなく、4000年の歴史ある漢方薬を入善町でも取り入れ、町民の健康増進に努めて欲

しい。
経済は未だ発展の余地はあるが、遼寧省は近いし、4000年の歴史が定着し魅力ある国と思う。
入善町でも、大いに友好の輪を広げていく必要があります。

新しい委員会メンバー決まる

9月議会定例会の初日10日に新しい委員会メンバーをつぎのとおり決定した。

☆総務常任委員会

歳入全部、総務、企画財政、税務、住民、会計に関する事項の調査や請願・陳情などの審査を担当。

- 委員長 田原 進
- 副委員長 東 狐 和
- 委員 五十里 隆章
- 委員 野 坂 俊一
- 委員 大 林 政雄
- 委員 石 川 昭男

☆文教厚生

常任委員会

福祉、環境保健、教育、生涯学習・スポーツに関する事項の調査や請願・陳情などの審査を担当。

- 委員長 広瀬 喜代志
- 副委員長 福澤 憲一
- 委員 本多 幸男
- 委員 板川 清治
- 委員 松沢 孝衛
- 委員 佐藤 学英
- 委員 池原 金与志

☆産業建設

常任委員会

農林水産、建設、下水道、商工観光、用地に関する事項の調査や請願・陳情などの審査を担当。

- 委員長 西尾 政巳
- 副委員長 岡島 功
- 委員 早川 誠一
- 委員 九里 郁子
- 委員 若島 信行
- 委員 本田 幸光

☆議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るため、会派代表と3常任委員長で構成する。

- 委員長 本田 幸光
- 副委員長 野坂 俊一
- 委員 西尾 政巳
- 委員 田原 進
- 委員 広瀬 喜代志
- 委員 本多 幸男
- 委員 池原 金与志

☆下水道対策

特別委員会

- 委員長 若島 信行
- 副委員長 本多 幸男
- 委員 岡島 功
- 委員 福澤 憲一
- 委員 田原 進
- 委員 板川 清治
- 委員 九里 郁子
- 委員 池原 金与志

☆交通網対策

特別委員会

- 委員長 九里 郁子
- 副委員長 大林 政雄
- 委員 福澤 憲一
- 委員 早川 誠一
- 委員 松沢 孝衛
- 委員 佐藤 学英
- 委員 若島 信行
- 委員 本田 幸光

☆地域活性化対策

特別委員会

- 委員長 野坂 俊一
- 副委員長 東 狐 和
- 委員 西尾 政巳
- 委員 田原 進
- 委員 広瀬 喜代志

☆新川広域圏

組合議会議員

魚津市、黒部市、宇奈月町、朝日町、入善町の議会議員の中から選出し、17名で構成する。

- 委員 五十里 隆章
- 委員 池原 金与志
- 委員 石 川 昭男
- 委員長 板川 清治
- 副委員長 本多 幸男
- 委員 岡島 功
- 委員 福澤 憲一
- 委員 早川 誠一
- 委員 九里 郁子
- 委員 若島 信行
- 委員 五十里 隆章
- 委員 九里 郁子
- 委員 若島 信行

決算特別委員会を設置

平成7年度決算を審査するため、5名の委員を選出し、設置した。12月定例会までに監査委員の意見書や、各課提出の資料を基に徹底した審査をする。委員会メンバーはつぎのとおり。

- 委員長 若島 信行
- 副委員長 早川 誠一
- 委員 東 狐 和
- 委員 西尾 政巳
- 委員 板川 清治

平成7年度決算 監査委員がモノ申す

9月議会定例会において、入善町監査委員より、「平成7年度入善町決算」について審査した意見書が提出された。その主な概要は、つぎのとおりである。

はじめに

各会計決算などの審査に当って、予算が適正、かつ効率的に執行されているか。また財産の取得・管理及び処分は適正かなどに主眼をおき慎重に審査した。

**食糧費は必要
最少限度に抑
えているか**

食糧費は、平成6年度1451万9000円であったが、7年度は950万3000円と削減に努められた。今後も、更に努力されたい。

予算の戻入れが7件81万830円、科目更生が4

件21万273円となっている。前年度に比べ科目更正は減少したものの、戻入れは4件72万7000円の増となった。今後とも発生防止に努力されたい。

各種委員会などの設置については、設置規定の見直しが必要なもの、一度も開催されていないものが見受けられた。当初の目的が達せられたものは廃止するなどの検討をお願いしたい。

**土地の取得は、
目的や使用計画
を明確にせよ**

購入された土地が、必ずしも取得時の目的に沿った使用がなされていない。今後、改善されたい。

文化振興財団など、各種



▲ 念入りに点検する救急隊員

平成7年4月1日から現行の組織機構に見直されたが、各課の連絡調整に不都合をきたしているところもある。再度見直しを図りたい。

団体へ町職員を派遣し、その給与などは町が負担している。今後は各種団体の収入に計上されるよう努められたい。

**補助金の
見直しを
図りたい**

補助金については、各種の行政上の目的で数多く交付されている。中には1万円未満の少額補助金も見受けられる。補助効果が上がるように、補助金の執行方法、補助額の見直しを図りたい。

**広域消防を
検討されたい**

救急業務の高度化については、年次計画を立て、救急救命士の養成、高規格救急車、救命工作車の整備に努められ、消防業務の近代化を図るうえからも広域消防について検討されたい。

新規事業への 取り組み

リーディングプロジェクト、女性プラン、新川地方拠点都市事業など新規事業に取り組み始めているが、政策形成の過程で議会と十分な意思疎通を図りながら、積極的な事業展開されたい。

4月に法人化されたシルバー人材センターに2900万円、老人ホーム入所措置費などに3億2492万4000円執行された。今後は高齢者がいつまでも家庭で生活できるように、住宅改善資金に対する助成の受給対象者拡充を図られたい。

建設課の重要な業務として、豪雨時の河川巡視や降雪時のパトロールがある。しかし、パトロール車が配備されていないので、早急に対応を講じられたい。



▲ 維持管理が懸念される芸術家の宿

芸術文化施設の維持管理費の 軽減化

杉沢の沢スギ、下山芸術の森、桐山いろいろ館など、芸術文化施設が数多く整備されている。これらの維持

管理、運営について、費用負担の軽減につながる方を講じられたい。

◎ 教育委員会委員

9月30日に任期満了となる愛場一立、本多宗高氏の後任に、次の者を選任することに同意した。

本多 宗 高(再) 上飯野 691

坂 本 利 子(新) 入膳 5390



◎ 情報公開審査会委員

9月30日に任期満了となる杉田高好、上島賢一、盛田親義、車正利、高見京子氏の後任に、次の者を専任することに同意した。

。浜田 隆 志 横山 633の2

。西川 久美子 青木 808の2

。米山 誠 一 新屋 168

。奥田 純 子 吉原 3951の8

。市岡 義 望 道市 528

◎ 人権擁護委員の推薦

鍋島磯松、奥田淳爾、志摩明雄氏は12月4日に任期満了となるので、後任の候補者として、次の者を法務大臣に推薦することに同意した。

。奥田 淳 爾(再) 吉原 3951の8

。志摩 明 雄(再) 下飯野 163

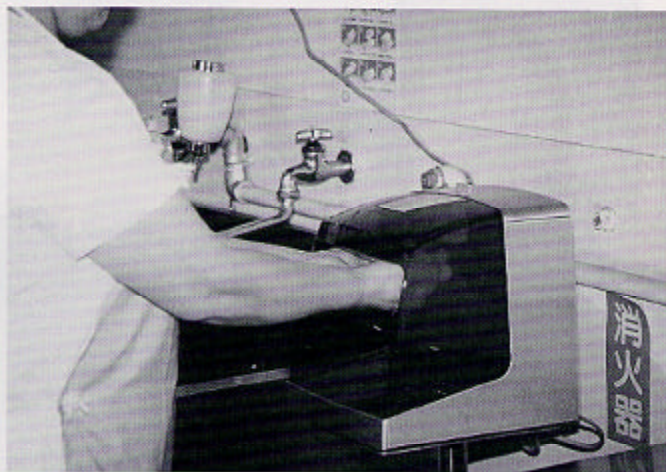
。寺崎 尚 道(新) 新屋 2507

各種委員を任命しました

なつとるがけ？

大腸菌0-157に

町はどう対処したの？



▲ 自動手指消毒器

問 町民に、どう注意を呼びかけたの？

答 啓発チラシを全戸に配布し、注意を呼びかけました。費用は、27万2000円です。

問 これからの予防対策は、どうしたの？

答 殺菌庫、自動手指消毒器・保存用冷凍庫等を、学校9校分、保育所14カ所分購入しました。費用は、901万4000円です。

何が原因で自民党

議員会が分裂したの？

答 6月議会の私約交代による、正副議長選出にあたり、16名の自民党議員会で候補者を内定しました。ところが、本会議場で選挙した結果、別の議員が正副議長に当選し、「決めたことが守れないのなら問題がある」との声が出て協議の結果、2派に別れたものです。

問 会派名とそのメンバーは、どいがけ。

原因は画一的ではありませんが、衆議院選、県議選における分裂支持の時点から火種を抱えていたとも言えます。

答 新政会 (8名)
本田幸光、池原金与志、大林政雄、若島信行、板川清治、五十里隆章、早川誠一、広瀬喜代志

民主政策研究会(民政会) (8名)
石川昭男、野坂俊一、佐藤学英、松沢孝衛、田原進、西尾政巳、福澤憲一、岡島功



▲ 保存用冷凍庫

なぜなぜ問答

ありやどう

桃李小学校はどこまで建ったがけ

答 校舎棟は9月30日現在、78・5%の立ち上りです。体育館は85%です。グラウンドは100%完成です。

問 あとどの工事が残つとるがけ。

答 校舎、体育館の整地と排水路、植栽など周辺環境整備はこれからです。

問 完成と開校はいつけ。

答 完成は平成9年2月20日です。開校は同年4月1日です。



▲ 完成間近い桃李小学校

新しいごみ焼却場はいつから使えるがけ

答 完成は平成11年度です。使用開始は平成12年4月の予定です。

問 事業費はいくらけ。

答 総事業費 78億9,800万円
(内本体工事 64億5,200万円)
財源内訳 ・国庫補助金 7億9,900万円
・地方債(借金) 57億 800万円
・一般財源 13億9,100万円

問 入善町の負担はいくらけ。

答 13億2,200万円(負担割合は18.65%)
内訳 ・地方債(借金)分 10億6,400万円
・一般財源分 2億5,800万円
他に償還時から利息の支払いがあります。

問 焼却炉の燃焼温度はどれくらけ。

答 900度を基準として、1,000度以内におさえない。

問 町民が利用できる施設もできるがけ。

答 朝日町が、焼却炉の余熱を利用した温水プールを建設します。

入善町情報公開制度 利用状況しらべ

県下に先がけて昭和59年から実施した情報公開は、各分野に亘って活用されている。
平成7年4月から8年3月まで、1年間の利用状況はつきのとおりである。

分野別請求内容は、町長の資産等の公開2、区長名簿等10、選挙人名簿4、地区別人口調べ5、指名業者入札結果10、土地資産2、住民基本台帳19、都市計画1、会議録2、合計155件であった。
また、実施機関別利用数を見ると町長部局149、議会2、選挙管理委員会4、合計155件となっている。

各種団体からひとこと

今回（第98号）から新企画として、各種団体から常日頃、議会に対しての要望や意見などを投稿して頂く欄を設けましたので御協力をお願いします。

入善町区長連絡協議会

会長 上島 藤吉



「議会だより」を編集しているのですが、委員会室へ来て下さい」と招かれ、委員長から何か一言添えて欲しいと、強く要請を受け、つたないペンを執る事になりました。

議会だよりは、昭和49年4月から発行されたのです。

発行には執行機関が難色を示されたのですが、地方自治の健全な発展は、議会が今、何が提案され、どのように審議がなされ、決定（議決）されたのかを町民に知らせることが大事だ、それが議員の使命であり義務である。これが議員の総意

だと言って、嫌がる当局をして発行に踏み切らせたのです。（発行には予算措置が必要）あれから97回（6月議会）の議会だよりが発行され、その編纂に磨きが掛かり、更によりよい発行へと意欲を燃やし努力しておられる姿に接し、私は心から敬意を表し、その成長を喜ぶ次第であります。

当時、議会だよりを発行している市町は少なく、また発行しているも議員名を伏せ、A B C Dとしている中で、入善町議会は発言者の名を記して発行したのであります。

それは、発言に責任を負わせ、切磋琢磨させ、質の向上になるとの意見を尊重して決定したのであります。

私は議員定数削減について思うのは、最少の経費で最大の効果を上げる事を目指す余り、近年経費削減を議員数の削減へ進んだと見るのです。地方自治の健全なる発展は、町民の声が議会に速やかに反映される事であり、それには先ず議員が出易い土壌を作る事が肝要だと考えます。従って、少数精鋭主義は、まやかしであり、自治の根幹を毒することだと思えます。然し一事不再議の原則がある以上、今にして覆す事は出来ません。町民は、削減後の議員の姿勢を醒めた眼で注目しているのです。有言実行で応えて下さい。

傍聴席からひとこと

奥田 純子さん

（吉原）



数年前、高校の同級生Y氏が県議会議員に就任されたとき、応援を兼ねて議長ふりを見に行こうという友達呼びかけで、同級生たちと県議会を傍聴に行

ったことがあります。その時、初当選で初質問の議員の出身地からも、大型バスで傍聴に来ておられました。おらが村の議員さんの嗜れ姿を見ようという様子をほほえましく思いました。Y氏の議長ふりはとても立派だったし、初質問議員の取り上げられた問題も県民生活に密着したもので、当局の答弁も興味深く聞きました。

町議会はもつと身近で、町民生活に直結していることを考えると、町民の誰もが関心をもつ

て見聞すべきであると思えます。九月議会の傍聴席は女性が多かったようです。

選んだ人がどんな問題に力を入れて取り組んでいるかをしっかりみつめるために、時には地域ぐるみで傍聴に行くことも必要だと思えました。



編集の窓

●今年の作況指数は、104と発表された。農家の収穫実績と一緒であり、喜ばしいことである。

しかし、国が転作を一段と強化すると考えられ、農家や町経済への影響が心配される。

●衆議院が解散し、新制度での選挙であった。

富山県では、知事選挙とのダブル選挙で、新しく選ばれた選良に期待する。

●病原性大腸菌O-157が全国的に流行した。

秋に入り終息したのと思っていたら、若手県盛岡市の小学校で感染者が出た。わが町も心したい。

●議会の内容を町民の方々に伝えるパイプ役としての責任が果せるよう、努力します。ご意見をお寄せください。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 板川 清治
 - 副委員長 本多 幸男
 - 委員 岡島 功
 - 委員 福澤 憲一
 - 委員 早川 誠一
 - 委員 九里 郁子